

書名	西森流 言葉の「選び方」「伝え方」			著者名	西森 卓也／著		
出版社	ベースボール・マガジン社	ISBN	978-4-583-11614-3	本体価格	¥1,700	発売	2023/9/1
内容	大学卒業後、保健体育科の教員として、新設された奈良県立耳成高校に赴任する。3年後、奈良県・大和高田市立高田商業高校に転任。以後、定年まで高田商業で、保健体育科教員を経て、同校教頭、校長と歴任。退職後の現在は奈良県ソフトテニス連盟理事長などを務める。ソフトテニス界の名将が明かす勝つための指導術と指導者の育て方。インターハイ最多優勝チームが明かす勝つために必要なモノとは？指導者必見の“高商テニス”の神髄に迫った一冊。						

書名	宗教民俗学			著者名	著者:高取 正男 解説:柴田 實、村上 紀夫		
出版社	法藏館	ISBN	978-4-8318-2653-4	本体価格	¥1,400	発売	2023/9/8
内容	「日本人の信仰」というものがあるとすれば、それはいかなる環境下で受容され、育まれてきたのか。民俗学の見地から日本宗教史へとアプローチし、前近代において最も身近な共同体であった村落を基盤に醸成された日本的信仰の淵源をたずねる。「幻想としての宗教」「村を訪れる人と神」「地藏菩薩と民俗信仰」「救世主としての教祖」など、著者の真骨頂ともいべき民間信仰史に関する12篇の論考を精選。						

書名	巨大古墳の古代史			著者名	瀧音 能之／著		
出版社	宝島社	ISBN	978-4-299-04720-5	本体価格	¥1,100	発売	2023/9/8
内容	昨今、古墳からの大きな発見のニュースが続き、話題になっている古代史の新書です。専門家たちが「最高傑作」と表現する、奈良にある国内最大の円墳・富雄丸山古墳から出土した鏡と剣など、注目の集まった古墳の詳細をはじめ、近年発掘が進む全国各地の古墳の最新状況をもとに、古代史の謎を読み解きます。新たな調査によって、何がどこまで解明され、従来の学説にどんな影響を与えているのかを網羅的に知ることができる、古代史ファン必見の一冊です。						

書名	願いを叶えるご利益巡り 京都・奈良の寺社100選			著者名			
出版社	宝島社	ISBN	978-4-299-04619-2	本体価格	¥1,100	発売	2023/9/11
内容	本誌は、「無病息災 護王神社」「恋愛成就 野宮神社」「合格祈願 春日大社」「仕事運・金運向上 生駒山宝山寺」「病氣平癒 蛸薬師堂」「眼病平癒 仲源寺」など、京都と奈良合わせて約7000寺社ある中から、ご利益ごとに100社厳選紹介します。オススメのご利益別コースなど、ひと目でわかるルートを掲載したマップも収録。その他、住所やアクセス、拝観時間、拝観料金などの情報満載の一冊です。						

書名	日本中世の国制と社会			著者名	稲葉 伸道／著		
出版社	塙書房	ISBN	978-4-8273-1345-1	本体価格	¥12,000	発売	2023/9/11
内容	第Ⅰ部には新制や裁判に関する論考を、第Ⅱ部には荘園・公領、中世都市奈良、興福寺の大和国支配、神人・寄人・供御人に関する論考や網野善彦に関する論評などを収載。						

書名	〈文庫〉霸王の神殿			著者名	伊東 潤／著		
出版社	潮出版社	ISBN	978-4-267-02404-7	本体価格	¥950	発売	2023/9/20
内容	かつて日本の中心地であった飛鳥(現在の奈良県明日香村)を舞台に、蘇我馬子の国づくりに向けた生涯を描く。時は570年、病床に臥す父・蘇我稲目から強大な豪族・蘇我一族の頭目の座を受け継いだ馬子。以来、大王に次ぐ大臣として、日本に渡ったばかりの仏教に根差した国家を目指して邁進していく。しかし、理想のためには謀略や暗殺も辞さず、馬子は血塗られた霸道を歩んでいくのであった——。宿敵・物部守屋との争い、日本最古の女性天皇・推古との知られざる関係、天才・聖徳太子への嫉妬と恐れなど功罪相半ばする日本最古の“悪役、の実像とは。						

書名	橿原考古学研究所論集 第18			著者名	編集:奈良県立橿原考古学研究所		
出版社	八木書店	ISBN	978-4-8406-2268-4	本体価格	¥22,000	発売	2023/9/20
内容	大和を掘る！最新の発掘調査をふまえて論考！ 考古学を中心に、周辺分野の専門家を交えた学際的な執筆陣！						

書名	イラストでひもとく仏像のフシギ			著者名	田中 ひろみ／著		
出版社	小学館	ISBN	978-4-09-682436-8	本体価格	¥1,600	発売	2023/9/27
内容	摩訶不思議の仏像の世界へようこそ！ 2022年3月に創刊し、23年9月まで刊行した小学館ウイークリーブック『隔週刊 古寺行こう』に連載された「仏像のフシギ」全40回に新テーマの書き下ろしやコラムを加えてまとめた、オールカラーの永久保存版。						